

# 日本赤十字広島看護大学紀要執筆要領（令和8年6月29日改訂）

## 1. 論文執筆に関する基本事項

- 1) 原稿は和文または英文で作成する。
- 2) 原稿は A4 版横書きで、和文は、1 ページ 35 字×28 行、英文はダブルスペースとする。
- 3) 投稿原稿の 1 編は本文、図表を含めて下記の枚数以内とする。
  - ・総説、論説、原著、研究報告、資料：和文 16 枚、英文 13 枚
  - ・短報、その他（研修報告、海外学会発表・参加報告など）：和文、英文共に 4 枚
- 4) すべての和文原稿には、表紙（別紙）を付し、原稿の種類、表題、著者名、所属（連絡先）、別刷希望部数、図表の数を記す。

副題をつける場合はコロン（:）を使用する。和文表題の場合は全角（:）、英文表題の場合は半角（:）を使用する。
- 5) 総説、論説、原著、研究報告、資料については、ランニングタイトル（和文 20 字以内あるいは英文 7 語以内）、400 字以内の要旨を書き、3 語程度キーワードを記す。
- 6) その他に属するものをのぞくすべての和文原稿には、英文の裏表紙（別紙）を付し、表題（重要な語の語頭を大文字にする）、著者名（ローマ字。姓はすべて大文字）、所属、250words 前後の abstract を書き、キーワードを記す。
- 7) 英文原稿の場合は、表紙および本文は英語で記し、和文の裏表紙を付す。
- 8) 英文原稿および和文原稿における英文 abstract 等は専門家（業者、ネイティブ等）の校閲を受け、証明書等を添付する。

## 2. 本文（和文）の形式

### <文章等の記載方法>

- 1) 見出しの数字と括弧（ ）は全角とする。ただし、2 桁の場合、（ ）は全角とし、半角数字とする。
  - 2) 見出しは以下の記号を用いて階層を明瞭に区分する。
    - ・大見出し：1. 2. 3. ……
    - ・中見出し：1) 2) 3) ……
    - ・小見出し：(1) (2) (3) ……
    - ・細目：①②③……
- ただし、見出し以外に列挙用に丸付き数字を用いる場合はこの限りではない。

第 I 章…	左寄せ
1. …	左寄せ
1) …	左端より 1 字下げる
(1) …	左端より 1 字下げる
・	
(10) …	
①…	左端より 1 字下げる
⑩…	

- 3) 本文の書き出しは、全てのレベルで左端から1字下げで始める。
- 4) 段落のための改行、新しい項目に入るときは1字下げで始める。
- 5) 句読点は、「、（全角読点）」、「。（全角句点）」とする。
- 6) 数式（=, -, +, ±, ÷, ×, <, >）は半角とし、前後に半角スペースを入れる。

- 7) 外来語などでカナ文字表記が一般化しているものはカタカナとする。

例) Self-care セルフケア

また、日本語訳が定着していない学術用語、外国人名は原則、原綴りとする。

- 8) 略語については、初出時に正式用語を示し、略語を（ ）に入れて付記する。ただし、度量衡などの単位についてはその必要はない。

例) 生活の質 (Quality of Life; 以下 QOL)

半角セミコロン、記号の後に半角スペースを入れる。

例) 医療的ケア児 (以下、医ケア児)

全角読点、半角スペース不要

- 9) 注記は、脚注としてそのページの下、または最後にまとめて記載する。

#### <数値の記載方法>

- 1) 数値は、原則として算用数字を用いる。例) 対象者は305名であった。
- 2) 数値は半角とする。
- 3) 数値が、1未満の場合は小数点の前に0を使う。数値が1を超えるはずのない値（相関係数、割合、統計的有意レベルなど）の場合は小数点の前に0をつけない。

例) ①0をつける 0.23mm

②0をつけない  $p < .05$

$p$ は、小文字・イタリック、 $p$ と<の間および<と数値の間に半角スペースを入れる

- 4) 1,000以上の数値には、3桁ごとに半角コンマを打つ。ただし、ページ番号、2進数、小数点以下の数、温度、自由度、シリアル番号、音響周波数特性は例外とする。
- 5) 量記号（サンプル数の $n$ や確率の $p$ などの数値すなわち量を表す記号）に対しては、英文書体のイタリック体（斜体）を使用する。

#### <表・図及び写真の記載方法>

- 1) 表と図（写真は図として扱う）は、それぞれ種類ごとに通し番号とタイトルを付し、それを説明した本文近くの適当な場所に挿入し表示する。ただし、表・図のみを掲載する頁になった場合も、本文のページ番号を付ける。
- 2) 論文の内容を補足するが本文中に記載するのが適切でない表・図は、本文のあとに付録としてつける（ただし表、図の順に付ける）。
- 3) 表は、表の左上端に表と書き、そのあとに表番号を半角算用数字で書く。タイト

ルは、表番号に続けて全角 1 文字あけて記載する。表の罫線は横罫のみ使用。なるべく最小限にとどめる。

例)

<記載例>

表 2 △△△と×××の平均値と標準偏差 ( $n = 181$ )

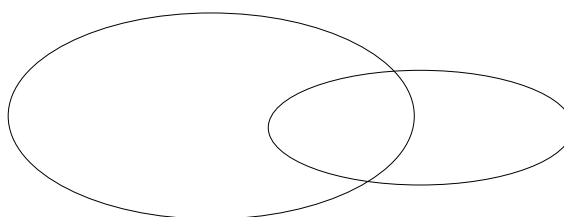
	平均値	標準偏差
△△△	5.38	0.63
×××	1.64	0.55

注：丸田すみ子 (1998) より、著者の許可を得て転載

4) 図は、図の上部に左詰めで図と書き、そのあとに図番号を半角算用数字で書く。タイトルは、図番号に続けて全角 1 文字あけて記載する。

例)

図 1 ○○○の概念図 [注：多田敏彦 (1996) より作成]



5) 文中で表や図に言及する際には、図表番号を使用して特定する。

例) 表 1 によれば・・・、・・・であることが示された (図 2)。

#### <文中への引用文献の記載方法>

1) 文献は、文中の引用部分の後に ( ) を付し、その中に、著者の姓及び発行年、ページ数を記入する。ページは通常、(p. 〇〇) と表記し、ページが複数にわたる場合は、(pp. 〇〇-△△) と記載する。また、コンマやピリオドの記載は次の表記を採用する。

例) 「……………」 (Gordon, 1986, p. 56) という研究結果がある。

半角カンマと半角ピリオドの後に半角スペースを

例) 「……………」 (三田、後藤、1986、p. 56) という研究結果がある。

半角ピリオドの後にのみ半角スペースを入れる

- ・ 文献全体がそれについて述べたものであって、特定のページを示すことが難しいものについては、必ずしもページ数は記載しなくてもよい。
- ・ 同一文献を同じ段落で繰り返し引用する場合は、2 度目以降の引用の際に出版年を表示する必要はない。ただし、段落が変わるごとに、初出の引用部分に出版年を記載する。

例) ① Watson (1982) は、次のような見方を・・・[ある段落での最初の引用]

② こうした Watson の見方は・・・[同じ段落の中で再度引用された場合]

2) 文献の一部を直接引用する場合には、引用部分を引用符「」で括り、引用であることを必ず明示する。また、& の記載は次の表記を採用する。

例) 「・・・・」 (Corsini & Cardone, 1966, p. 56) と定義され・・

半角 & の前後に半角スペースを入れる

引用が長文になる場合は、前後に 1 行分のスペースをとり、行頭を 2 文字分あけた特別の段落 (引用段落) とする。その際は、「」で括る必要はない。最近では、知的財産権上、あまり長い引用は避けるべきとされているので注意する。

例) これについては歴史家の次のような記述にあきらかに示されている。

前後に 1 行分の  
スペースを  
入れる

今世紀初頭における・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
・・  
・・・・・・・・であった (Collins, 1982, pp. 123-124) 。

つまり、このことから、歴史家の基本的な仕事が、過去に生じた・・・・

3) 要約引用 (直接引用していなくても、間接的にその内容について言及したもの) は、引用文献として、それに関する記述箇所の後に ( ) を付し、著者名と発行年、できればページ数を表示すること。

例) ①・・・・ではないかと言われている (三田、後藤、1986、p. 56) 。

②・・・・と考える研究者たち (木村、1981; 田中、1984) も存在する。

4) 本文中に著者名が記載されている場合には、その後ろに ( ) 付し、発行年のみ記載する。本文中に発行年が記されている場合には、改めて表示する必要はない。文献のページは、当該文章の後ろに記載する。

例) ①吉田 (1984a) は「・・・・・・・・」 (p. 45) と述べている。

②吉田 (1984b) は社会状況と関連づけて論じている (pp. 56-64) 。

③1966 年に Corsini & Cardone は以下のように語っている (p. 102) 。

5) 著者 1 人または 2 人の場合は、全ての引用箇所に著者の姓と発行年を記載する。著者名が和文の場合は著者名の間を「、」で、英文の場合は「&」でつなぐ。

例) ①大木、高橋 (1991) の研究

②Ohki & Takahashi (1991) の研究

6) 著者が 3 人以上の場合は、文献を区別するために必要な数の名前を書き出し、残りの名前はすべての引用において「ら」と略す。

例) ①大木、高橋、山田、吉本、中村、鈴木ら (1991) の研究によれば、

②大木、高橋、山田、吉本、中村、田中ら (1991) が調査し・・

英文の場合、「et al.」の前の名前が 1 つだけであればコンマはつけない。2 つ以上ならば、コンマをつける。

例) ①Smith et al.

②Smith, Jones, et al.

7) 同一著者に同一発行年の文献が複数ある場合には、発行年の後にアルファベット小文字 (a, b, c...) を順に付して区別する。

例) (Clifford, 1993b, p. 56)

8) 同一著者に複数の発行年の文献がある場合には、姓の後に発行順に発行年を並べて記す。

例) (三山、1998、2001、2002)

9) 著者の異なる複数の文献を同一箇所でも引用する場合は、( ) の中に筆頭著者のアルファベット順に姓と発行年を記し、著者ごとに; (セミコロン) で区切る。

例) ① (小山、1985; 吉田、1984a)

② (三山、1998、2001、2002; 藤堂、2000; 四谷、1999)

10) 英文文献の翻訳版を使用した場合には、原書の発行年と翻訳版の発行年を半角スラッシュ (/) で結ぶ。ページ数は翻訳版のものを記載する。訳者名は不要。ただし、文献リストには訳者名を記載する。

例) (Collins, 1982/1992, p. 33)

半角/の前後にスペースは入れない

#### <文献リストの記載方法>

1) 文献リストは、筆頭著者の姓のアルファベット順に記載し、著者が 20 人以下の場合は全員の姓名を表示する。外国人の場合、姓 (ファミリーネーム) を先に記載し、名 (ファーストネームやミドルネーム) はイニシャルのみを後に記載する。著者が 21 人以上の場合は、最初の 19 人の著者名を記載し、省略記号「...」 (& は使用しない) を挿入したあと、最終著者を記載する。

2) 同一著者の文献が複数ある場合には、発行年の早い順に並べる。同一著者による文献が同一年次に複数ある場合には、本文中の ( ) 内に記載された発行年に付したアルファベット順に並べる。

3) 英文文献で、著者が 2 人以上の場合、最後の著者名の前に、& をはさむ。

また、名のイニシャルの後は半角ピリオド (.) と半角コンマ (,) の後に半角スペースを入れる。

例) Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989).

半角. と半角, の後に半角スペースを入れる

4) 記載内容が 2 行以上にまたがる場合は、2 行目以降は行頭を日本語 1 文字、アルファベット 2 文字分下げる。

5) 文献の記載方法は、雑誌掲載論文、書籍 (原書)、書籍 (翻訳版) の種類によって異なる。

#### (1) 雑誌掲載論文

著者名 (発行年). 論文の表題. 雑誌名, 号, もしくは巻 (号), 最初-最後のページ数.

ページの pp. は省く。雑誌名は原則として正式名称を用いる。

例) ・ ・ 家族療法研究, 1(1), 28-37.

カンマ (,) の後にスペースを入れ、半角 ( ) の前後にはスペースは入れない

石川元, 大原健志郎 (1984). 家族療法と非言語. 家族療法研究, 1(1), 28-37.

丸田すみ子 (1988). 中部山岳地帯における植生と環境変化に関する研究. 社会生物学研究, 12(3), 45-56.

Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. Journal of the American Geriatric Society, 33, 833-841.

オンライン版学術論文の記載方法は DOI (デジタルオブジェクト識別子) の有無で異なる。

DOI と URL はいずれもハイパーリンクとして表示する (すなわち、<http://> または <https://> で始まるウェブアドレス)。

- ・ DOI のある論文の場合、DOI を最後に記載する。

著者名 (発行年) ・ ・ ・ ページ番号. <https://doi.org/xxxxx>

DOI の後に. はつけない

例) 大西奈保子 (2015). がん患者を在宅で看取った家族の覚悟を支えた要因  
日本看護科学会誌, 35, 225-234. <https://doi.org/10.5630/jans.35.225>

- ・ DOI のない論文の場合、論文閲覧サイトの URL を最後に記載する。

著者名 (発行年) ・ ・ ・ ページ番号. [http:// URL](http://URL)

URL の後に. はつけない

例) 吉行紀子, 河野あゆみ, 曾我智子, 金谷志子, 堀田邦子 (2016). 要支援高齢者における介護保険サービスの利用パターンと虚弱性との関連性.  
日本公衆衛生学雑誌, 63(3), 135-142.  
[http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3\\_135.pdf](http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3_135.pdf)

## (2) 書籍 (原書)

著者名 (発行年). 本の表題. 出版社. を明記する。

例) American Psychological Association. (2001). Publication manual of the American Psychological Association (5th ed.). American Psychological Association.

Corsini, R. J., & Cardone, S. (1966). Role playing in psychotherapy. Aldine.

岡崎寿美子 (1992). 人は痛みをどのように表現するか. 草原社.

編集された書籍の中に収録された論文の場合、論文著者名 (発行年). 論文表題. 編者名 (編), 書籍の表題 (pp. 最初-最後のページ数). 出版社を明記する (出版地は不要)。

英文文献の場合、編者名は名 (ファーストネームやミドルネーム) のイニシャル

を先にし、姓（ファミリーネーム）の後に (Ed.). 編者複数の場合には (Eds.). を付す。

例) Charmaz, K. (1983). The grounded theory method: An explanation and interpretation. In R. M. Emerson (Ed.), Contemporary field research: A collection of readings (pp. 109-126). Little, Brown & Co.

ピリオドを含む略語で文が終わる場合は、ピリオドをもう1つ重ねない

Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. In T. Moore, & E. Simendinger (Eds.), Managing the nursing shortage: A guide to recruitment and retention (pp. 1-2). Aspen.

吉井恭子, 大木陽子, 木村洋二, 高田隆一郎 (1983). 精神医療におけるインフォームド・コンセント. 田中信子 (編), 人権の思想 (pp. 123-234). 現代出版.

オンライン版書籍の記載方法は DOI (デジタルオブジェクト識別子) の有無で異なる。

DOI と URL はいずれもハイパーリンクとして表示する (すなわち、http:// または https:// で始まるウェブアドレス)。

- ・ DOI のある書籍の場合、DOI を最後に記載する。

著者名 (発行年) . . . 出版社. <https://doi.org/xxxxx>

DOI の後に. はつけない

- ・ DOI のない書籍の場合、出版社の URL を最後に記載する。

著者名 (発行年) . . . 発行所. [http:// URL](http://URL)

URL の後に. はつけない

### (3) 書籍 (訳本)

著者名【原綴りのまま】(原書の発行年)/訳者名 (訳)(訳本の発行年). 邦題. 出版社. を日本語で記載する。

例) Collins, R. (1982)/井上俊, 磯部卓三 (訳) (1992). 脱常識の社会学. 岩波書店.

### (4) 電子資料 (オンライン資料)

オンライン上のみで閲覧できる資料で、DOI がある場合は DOI を記載する。

- ・ オンライン資料で DOI のある場合 (URL は記載しなくてもよい)

著者名. (発行年). 論文の表題. 雑誌名. 巻 (号), 最初-最後のページ数.

<https://doi.org/xxxxx>

DOI の後に. はつけない

- ・ オンライン資料で DOI のない場合

著者名. (発行年). 論文の表題. 雑誌名. 巻 (号), 最初-最後のページ数.

[http:// URL](http://URL)

URL の後に. はつけない

逐次更新される内容の場合は、URL の後に ( ) を付し、検索日 yyyy 年 mm 月 dd 日を記載する。

インターネット情報 (Wikipedia などを含む) は真偽の不明な情報も多く、確実な情報かどうかを十分に確かめた上で慎重に用いる。そのままコピーすることは絶対に避けること。また、その文献が紙媒体で入手可能な場合は、それを文献とし、電子資料はインターネットでしか手に入らない文献に限定すること。

#### —参考文献—

American Psychological Association. (2020). Publication manual of the American Psychological Association (7th ed.). American Psychological Association.

American Psychological Association. (2019)/前田樹海, 江藤裕之 (訳) (2023). APA 論文作成マニュアル (第 3 版). 医学書院.

前田樹海, 江藤裕之 (2023). APA に学ぶ看護系論文執筆のルール (第 2 版). 医学書院.